



みやぎ 県老連 MIYAGI だより

公益財団法人 宮城県老人クラブ連合会

通 巻

108号
2019.1.25

第39回宮城県老人クラブ大会（石巻市）



第23回宮城県シニアスポーツ大会（利府町）



平成30年度女性リーダーセミナー



平成30年度健康づくり研修会

【内容】

新年のあいさつ

平成30年度の行事予定・事業報告

第14期高齢者相互支援推進啓発事業のスタート

市町村老連活動紹介

会員一万人増強運動(平成29年度実績)

新年のごあいさつ

公益財団法人 宮城県老人クラブ連合会



会長 佐藤 節夫

あけましておめでとう
ございます。

平成31年の年頭にあたり
謹んでご挨拶を申し上げ
ます。

皆様には、明るく健やか
に新年を迎えられたこと
と存じ心からお喜び申し
上げます。

昨年は、役員が交代した
にも関わらず、皆様のご
理解ご協力により、当連
合会の運営、事業執行が
計画どおり、円滑にでき
ましたことに深く感謝申
上げます。

東日本大震災から7年
が過ぎ、復旧・復興も着々

進行していますが、反面
災害の風化が心配される
ところでもあります。

今年は、新天皇陛下の
ご即位、年号が変わり、
明るく希望を持っていま
すが、高齢者を取りまく
社会情勢は厳しいものが
予測されます。しかし、

わたくしたちは幸せを求
めて前に進まなければな
りません。当連合会とし
ても、各市町村老連のご
協力を賜りながら「自分
のクラブ」であるとの意
識をお持ちいただき「単
位クラブ」「市町村老連」

「県老連」が連携を一層

緊密にし、誰もが願う「健
康で生きがいのある生活
の実現」をめざし、老人
クラブの三大運動「健康」

「友愛」「奉仕」のもと、
活動のメインテーマであ
る「のぼそうー健康寿命、
担おう！地域づくりを」
を目標に掲げ積極的に活
動してまいります。また、

平成26年度から始めた老
人クラブ「一万人会員増
強運動」は平成30年度で
終了しますが、引き続き
会員増強運動——なか
まづくり——を進めて
まいります。

社会情勢は、少子高齢
化、平均寿命の延伸によつ
て「人生百年時代」の到
来が予想されるようにな
りました。一方で増加す
る高齢者を支える社会保
障制度の持続可能性が問
われています。

老人クラブの健康づく
りや友愛活動をはじめ、

官民が一体で取り組んで
いる新地域支援事業への
参画が一層重要になつて
きます。特に見守り支援
の友愛活動では、高齢者

相互支援推進啓発事業の
モデル指定を発展拡大し
ていく必要があります。

また、特殊詐欺被害の防
止活動にも力を注いでい
かなければならないと思
います。これからも社会
の一員として、子供・高
齢者が安心して暮らせる
地域社会の実現を目指し
て活動の幅を広げてまい
ります。

今年も県ご当局はじ
め、県社会福祉協議会並
びに関係する皆様のご指
導ご協力をよろしくお願
い申し上げます。

会員皆様のご健勝ご多
幸を衷心よりご祈念申し
上げ、ご挨拶といたしま
す。

平成30年度の行事予定

1 県内の行事

①認知症サポーター養成講座

厚生労働省が平成15年か
ら全国に展開している「認
知症サポーター100万人
キャラバン事業」の一環と
して、地域住民が認知症に
ついて学び、身近にいる認
知症の人や家族の良き理解
者となるサポーターを養成
することを目的に開催して
おります。

昨年中に6地域で開催
し、今年度でのこれからの
開催予定は、

【1月29日】

登米市老連での開催のみと
なりました。

②女性リーダー活動

【1月18日】

「第2回女性委員会」
(ホテル白萩)

来年度の事業計画の協議な
どが行われます。

③高齢者相互支援推進啓発事業

【1月25日】

一人二人が輝く元氣な宮城を目指して



宮城県知事 村井 嘉浩

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに当たり、県民の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年は、本県出身の羽生結弦さんが平昌冬季オリンピックのフィギュアスケート男子シングルで66年ぶりにオリンピック2連覇の偉業を達成され、我が県のみならず、全国に大きな感動や勇気を与えてくれました。また、県政運営では、災害公営住宅の整備が完了間近まで進んだほか、三陸縦貫自動車道が気仙沼市内で開通するなど、震災からの復興が着実に進むとともに、次世代放射光施設の仙台市内への設置決定や仙台空港の就航路線拡大、新ブランド米「だ

て正夢」の本格デビューなど「創造的な復興」に向けたこれまでの取組が次々と実を結んだ1年でした。

今年は、「宮城県震災復興計画」の総仕上げとなる「発展期」の2年目になります。「発展期」は復興の進展に伴い生じる新たな課題にきめ細かく対応しながら、復興計画後の新しい宮城を形づくる極めて重要な3年間です。全ての被災者が復興を実感できるような復旧・復興を一層加速させるとともに、「宮城の将来ビジョン」に掲げた将来像の実現に向け、戦略的に取組を推進していかねばなりません。そのため、「力強くきめ細かな震災復興」、「地域経済の更なる成長」、「安心して

いきいきと暮らせる宮城の実現」、「美しく安全なまちづくり」を政策推進の基本として、復興の総仕上げに向けた施策に最優先で取り組むとともに、未来を担う子どもたちへの支援や人口減少対策など地方創生の取組も加速してまいります。

さて、団塊の世代が全員75歳以上になる2025年には、県内の高齢者数は約70万人、認知症の方は約14万人になると見込まれており、不足する介護人材の需給ギャップは約5千人になると推計されています。

このような、超高齢社会の到来を見据え、高齢者が住みなれた地域で自分らしく生活できるよう、昨年3月に平成30年度からの3年間を計画期間とする「第7期みやぎ高齢者元氣プラン」を策定しました。本プランの計画期間は、「宮城県震災復興計画」の発展期に当たります。この期間

完了し、これまで培ってきた経験を活かした、多職種連携

による健康支援体制や見守り体制を整備するなど、地域包括ケアシステムの充実・推進を図る重要な時期であります。

地域包括ケアシステムの充実・推進は、専門職だけでなく、地域全ての住民の関わりによって実現できるものです。老人クラブ会員の皆様が取り組まれている地域での支えあい活動は、県が目指す地域包括ケアシステムの充実・推進を図る上で大変参考となる好事例であり、さらなる活発な取組を期待申し上げます。

震災から間もなく8年が経過します。震災前の状態に戻す「復旧」ととどまらない「創造的な復興」を更に進め、一人一人が輝く、元氣な宮城を県民の皆様とともに築き上げてまいりたいと考えておりますので、今後とも御理解と御協力をお願い申し上げます。

「第4回指定老連関係者連絡会議」

(ホテル白萩)

第13期事業の総括と、事業報告書(冊子)の作成などについて協議が行われました。

④理事会・評議員会

【3月1日】

「第14回理事会」

(ホテル白萩)

【3月18日】

「第10回評議員会」

(ホテル白萩)

⑤市町村老連会長・事務担当者合同会議

【3月22日】

「市町村老連会長・事務担当者合同会議」

(ホテル白萩)

2 全国の行事

【2月4日～5日】

「都道府県・指定都市老連会長事務局長合同会議」(東京都)

【3月12日】

「全国老人クラブ連合会理事会・評議員会」(東京都)

事業報告

《県内のできごと》

平成30年度 研修会・セミナー・各種大会報告

女性リーダーセミナー

8月10日（金）仙台市青葉区の「ホテル白萩」を会場に女性リーダー等、約200名が参加しセミナーが開催されました。

開会行事として「老人クラブの歌」や私たちの誓い」を参加者全員で唱和しました。

開会行事後、「自分のあしで歩き続けよう！」「いくつになっても鍛えられる！変わる！」と題し、（株）ピーベリー代表取締役児玉美幸氏より、ご講演いただきました。

セミナーの後半は、佐藤純子女性委員長より



「都道府県女性代表者会議の概要」について基調報告があり、最後に、大崎市老連松本昌子女性委員より、「高齢者相互支援事業に参加して」と題して事例発表を行いました。

参加者は、女性会員の活躍が老人クラブの活性化に繋がることを実感していました。

高齢者相互支援推進啓発事業
シルバリーリーダー研修会

12月12日（水）仙台市青葉区の「ホテル白萩」を会場に5市町のモデル指定老連のシルバリーリーダーや市町村老連の友愛活動担当役員等、約100名が参加して、シルバリーリーダー研修会が開催されました。

佐藤節夫会長の挨拶の後、栗栖行政書士事務所

に所属する特定行政書士菅野宏（すがのひろし）氏から「成年後見人制度及び高齢者向け各種制度の活用について」と題してご講話をいただきました。よく耳にする「成年後見人制度」も、対象となる方の判断能力に依じて、「後見」「保佐」「補助」に分かれ、被後見人が制限される法律行為が異なることや、制度を利

用するための申し立ての方法の説明がありました。

また、出生から死に至る間に様々な制度の活用が可能であり、「成年後見人制度」の他に、「事務委任契約」や「遺言」、「死後事務委任契約」、「民事信託」など、状況に応じた制度があることがわかりました。

長寿社会のなかで、われわれ高齢者が安心して生活を営むため、これら制度を上手に利用することが重要だと、事例を交えて分かりやすく教えていただきました。

次に「活動事例発表」として、モデル指定を受けている大崎市松山、蔵王町、色麻町、女川町、南三陸町の5老連か



ら「第13期モデル事業をやってよかったこと」と題して、活動の事例や次期14期への抱負などが語られました。

今年度で13期事業が終了し、来年度から14期事業が始まります。これまでモデル指定を受けられなかった老連の皆様も、是非14期の指定を受けては如何でしょうか。

健康づくり研修会 〈県内7地区〉

健康づくり研修会（県

内7カ所開催）は今年で16年目を迎えました。今年度より、東北福祉大学准教授齋藤昌宏先生に講師となって頂き、午前の講座で健康や予防をテーマに講義を受け、午後は健康指導士の指導のもと、ストレッチングなどの方法を習いました。



午前の講義では、資料

『伸ばそう健康寿命』介護予防とロコモティブシンドロームのお話』により、健康な身体をつくるためのポイントや、介護予防など、高齢者にとって健康づくりに役立つ講義が行われました。

午後の実習では午前の講義を踏まえて、正しいストレッチングの仕方やフェイスタオルを使った軽い運動等を行い、健康指導士の先生や、実習を手伝った学生と一緒に実技を行うことで、より講義の理解が増しました。若い学生との世代を超えた交流も高齢者には楽しい時間であり、どの会員も元氣な姿を示すことができた研修となりました。

健康は1日だけの実習では身につけません。

皆さんも研修で覚えた筋トレやストレッチを生活の習慣とされては如何でしょうか。

開催場所・日時

○8月27日（月）

栗原市石楠花センター

○8月28日（火）

大崎市古川武道館

○8月30日（木）

登米市豊里公民館

○8月31日（金）

気仙沼市市民福祉センター

「やすらぎ」

○9月3日（月）

松島町石田沢防災センター

○9月5日（水）

女川町総合体育館

○9月6日（木）

蔵王町ふるさと文化会館

「いづみんホール」

総参加人数

595名

第23回宮城県シニアスポーツ大会

〈宮城県総合運動公園 グランディ21〉

平成30年10月26日（金）

宮城県総合運動公園を会場に、第23回宮城県シニアスポーツ大会が開催さ

れ、県内34市町村の老人クラブなどから約700名が参加しました。

天候に恵まれ、グラウンド・ゴルフ、パタンク、ゲー

トボールの3種目で、はつらつとしたプレーが繰り広げられました。

佐藤節夫県老人クラブ連合会会長は「みなさんが大会を楽しみにしている。元氣なシニアが増えるように今後も盛り上げたい」と話していました。



【グラウンド・ゴルフ】

●男子の部

優勝 池田 一男（石巻市老連）
準優勝 菅澤 敏（東松島市老連）
第三位 千葉 良一（利府町老連）
第四位 齋藤 孝（角田市老連）
第五位 秋山 光公（大衡村老連）

●女子の部

優勝 吉田 八重子（岩沼市老連）
準優勝 高橋 よし子（大和町老連）
第三位 高橋 ゑみ子（利府町老連）
第四位 山崎 さく子（白石市老連）
第五位 大友 義子（栗原市老連）

【パタンク】

優勝 栗原市老人クラブ連合会
Bチーム

準優勝 名取市老人クラブ連合会
第三位 色麻町老人クラブ連合会

【ゲートボール】

優勝 大郷町老人クラブ連合会
準優勝 本吉町老人クラブ連合会
第三位 栗原市老人クラブ連合会
Bチーム

第39回 宮城県老人クラブ大会（石巻市）

11月15日（木）石巻市の「遊楽館・かなんホール」を会場に老人クラブ大会が県内各市町村から会員、関係者約400名の参加を得て盛大に開催されました。

オープニングでは、石巻支部老連岩淵なつこ様に「さんさ時雨」を、石巻市老人クラブ連合会女性部の皆様による「大漁踊り」が披露され会場からは、大きな拍手が送られました。

第一部では、石巻専修大学理工学部食環境学科



教授の坂田隆氏の記念講演が行われ「らくだのはなし」と題して、普段あまり触れあう事のないらくだの進化の仕方やしぐみ、利用法など楽しくユーモアのあるお話を頂き、参加者から盛大な拍手が送られました。

第二部の式典では、永年にわたり福祉事業や社会に貢献され老人クラブの発展に功績のあった老人福祉事業功労者31名、優良老人クラブ22団体、社会貢献活動クラブ11団体が佐藤節夫会長か



平成30年度 認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座は今年で14年目となりました。認知症は誰でもなる可能性がある病気です。いつ自分や家族らそれぞれ表彰されました。

また、12月4日（火）から5日（水）に沖縄県で開催される全国老人クラブ大会において全老連会長から「育成功労表彰」を受けられる「西城重二様」「伊藤三壽様」「優良郡市区町村老人クラブ連合会表彰」を受けられる「女川町老人クラブ連合会」の紹介がありました。最後に、来年度開催予定地の登米市老連及川渕会長より、心を込めて皆様の参加をお待ちしておりますとの挨拶がありました。

が、あるいは友人や知り合いが認知症になるか分かりません。認知症サポーターとは、「なか」特別なことをする人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対し温かく見守ること。それが、認知症サポーターです。

認知症サポーター養成講座を受講すると、認知症サポーターになります。認知症サポーターには、「認知症の人を応援します」という意思を示す「目印」であるオレンジリングが渡されます。まちの中や近所の方で認知症かな？と思いをかけるときも、オレンジリングを身につけると、周囲の人にも、認知症の人のお手伝いをし

ているのだと目で分かる場合もあります。認知症サポーターについて1人でも多くの方知っていただくため、市老連・町老連に限らず、地区老連・単位クラブの会員の方々にも積極的にご参加いただきたいと思っています。

開催場所・日時

○11月7日（水）

七ヶ浜町菖蒲田浜地区避難所（集会室）

○11月20日（火）

大河原町福祉センター

○11月22日（木）

角田市総合保健福祉センター

（多目的ホール）

○11月27日（火）

大和町民研修センター

（1階大集会室）

○11月29日（木）

富谷市中央公民館

○12月10日（月）

色麻町保健福祉センター

（健康増進室）

総務部会の開催について

平成30年8月10日に 協議に入り、代表役員開催された第13回県老連や理事の選出方法の協議や、今後の作業スケジュールなどの確認を行った総務部会（専門部会）の第1回会議が、11月2日（金）に開催されました。

協議結果は、逐次理事会等で報告の上、来年度末に答申書としてまとめられる予定です。

◆◆◆全国のできごと◆◆◆

第47回全国老人クラブ大会（沖縄県）

12月4日（火）から5日（水）に沖縄県「沖縄コンベンションセンター」他で開催された大会には、本県から佐藤節夫会長をはじめ7名が参加しました。

初日に開催された活動交流部会では「①私たちの地域を支え合おう」「②仲間を増やそう」「③老人クラブ高齢消費者被害防止キャンペーン」「④演じる活動（舞台発表）」

2日目の式典においては、「育成功労表彰」として西城重一様と伊藤三壽様が、「優良郡市区町村老人クラブ連合会表彰」として女川町老人クラブ連合会が全国老人クラブ連合会長より表彰を受けました。

最後に、埼玉県老連新藤享弘会長より次回大会の挨拶があり、全員で「芭

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

会員皆様には、平成三十一年の新春を健やかに迎えられたこととお心よりお慶び申し上げます。

県老連会長在職中、二期四年間、会員皆様を始め関係機関の方々に大変ご協力ご支援を戴き、無事職責を果たす事が出来ました。感謝申し上げます。

新しい役員には、経験豊かな素晴らしい方々が選出され、佐藤新会長を中心に県老連事業運営に多くの期待をいたすところ



蕉布」を合唱し幕を閉じました。

来年度は、埼玉県での開催となります。皆様の参加をお待ちしております。

前会長 武山 萬

であります。第十三回理事会にて、不肖私を顧問に推薦戴き、身に余る光栄と存じ、大変感動いたしております。皆様方の期待に答え、少しでもお役にたてるよう職務を果たして参ります。

会長より寄稿の依頼をいただきペンを取った次第であります。

県老連は、財政的に厳しい状況にあります。昨年より総務部会で検討中の役員定数の見直し、財政健全化の実行を早急に決めることが最重要課題であります。高齢化社会が進む中会員

増強運動五ヶ年計画も年度末をもって終了となります。会員減少に歯止めがかかるか、関心のあるところであります。

会員相互の支え合いを目指して、市町村老連、女性委員会をはじめ、各クラブが一体となって組織活動を活発に、拡大を推進しなければと考えます。会員減少は財政状況の悪化を招いており、会員増強に一人でも多くの入会をいただくよう願うところであります。

結びに、本年も皆様方のご健勝ご多幸を祈念申し上げご挨拶と致します。

西日本豪雨災害への救援拠金募集結果

平成30年台風第7号及び前線等に伴う大雨被害により、西日本を中心に甚大な被害が出ました。

全老連の募金の呼びかけに応じて、県老連でも、35市町村老連に募金協力の依頼を行いました。

この結果、30老連から総額 ¥4,156,083円の救援拠金が寄せられ、去る12月26日に広島県と岡山県の両老連に207万円余の拠金を送金致しました。

皆様のご協力に感謝いたします。

市町村老連女性部（委員会）の活動紹介

各市町村老連の女性部（委員会）では、様々な活動を行っております。
その一部をご紹介します。

塩釜市老連女性部

**友愛活動・会員増強・市老連
事業への積極的な支援活動**

- ★ 第 11 期相互支援事業の経験を活かしつつ、友愛活動を継続しています。
- ★ 入会問い合わせは、当該単位クラブに情報として提供しています。
- ★ 春・秋の交通安全運動で主となって活動して、終了後反省会を兼ねた食事会を実施する単位クラブがあります。
- ★ 様々な活動実施後の茶飲み会や食事会の実施で、好評を博しています。

多賀城市老連女性部

「あやめ踊りで仲間をふやそう！」

- ★ 女性部は平成 28 年度に誕生したばかりです。
- ★ 多賀城市あやめ祭りに女性部として参加し、PR 効果を期待しつつ他地区との交流を深める取り組みとして（平成）31 年度からの実施を考えています。
- ★ 併せて「舞踊サークル」を結成し、今年度から活動を始めたいと考えています。
- ★ 女性部の一大イベントとして、交流の輪の広がりや、他行事のスムーズな展開も期待しています。

蔵王町老連「女性部会」

- ★ 老人クラブの会員増強活動：60 代の会員を増やすため、積極的に入会を勧めています。
- ★ この結果：一部のクラブでは、若い会員が増え、活動が活発化しています。
- ★ 各種イベントに協力しています：無理なく自分たちのできる範囲で活動を行うことで、活動自体を楽しく・明るく・面白く行うことが出来ました。

女川町老連女性部会

「女性リーダー研修会」

- ★ 女性リーダーの育成を目的に、平成 28 年度から様々な活動を開始しています。
- ★ 平成 28 年度：ぞうきんプロジェクトへの参加、料理教室を 2 回実施しました。
- ★ 平成 29 年度：施設見学（女川原発）、講習会（カゴメ（株）が教える美味しいテク！）を受講。
- ★ 活動を通じて、顔の見える関係が出来ました。

松島町老連女性部会

「友愛訪問活動」

- ★ 町老連独自の事業として、高齢者独居世帯を中心に訪問し、話し相手・お茶のみ相手となって交流しています。
- ★ 各地区 8 月から 9 月に、手土産を持参し訪問しています。
- ★ 各単老の積極的な活動の結果訪問数が増加しています。
- ★ 会員の訪問を待つ高齢者の「また来てけらいん」という声を毎年数多く頂いています。
- ★ 活動自体が非常に意義のある活動との認識が会員内に定着しています。

山元町老連女性部

「女性部会員の教養の向上を」

- ★ 女性部会員の教養の向上を目的とする講座と施設見学を行いました。
- ★ コミュニケーション能力をアップするヴォイストレーニングを行いました。
- ★ 発声には腹式呼吸が重要で、常に意識して行う事を実感しました。
- ★ 施設見学は、仙台市天文台でプラネタリウムに出かけました。初めての方が多く、ゆったりと楽しく観ることが出来ました。

平成31年度より「第14期高齢者相互支援推進啓発事業」が はじまります。

高齢者相互支援推進啓発事業



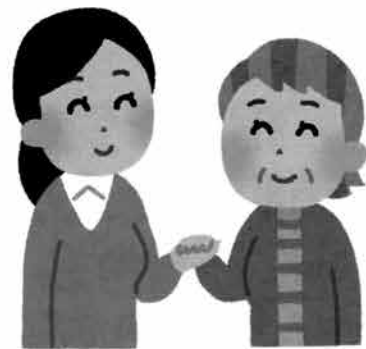
近年、高齢者の孤立が大きな社会問題となっています。高齢者世帯の半数以上がひとり暮らしまたは夫婦世帯となり、地域での人と人の関わりも少なくなっている現在、「孤立」は誰にでもおこりうることです。

宮城県老人クラブ連合会では、平成5年度から高齢者が相互に支え合い、いつまでも笑顔で安心して暮らせる豊かな地域社会づくりを目指し、モデル老連の指定と共にシルバーリーダー（友愛活動担当者）による『高齢者相互支援推進啓発事業』に取り組んで参りました。

平成29年度から30年度までの2年間で行われている第13期では、モデル老連として大崎市松山地区、蔵王町、色麻町、女川町、南三陸町の5老連を指定いたしました。

モデル老連の老人クラブはこれまで推進してきた友愛活動を活かして、高齢者の地域や在宅での生活を支援する活動に積極的に関わっております。

これまでモデル老連の指定を受けられなかった老連の皆さんも、是非14期(平成31年～32年)の指定を受けられては如何でしょうか。



宮城県老人クラブ連合会では、平成31年度から2年間高齢者相互支援推進啓発事業に取り組む「モデル老連」の募集をいたします。

モデル老連の指定は8老連となりますが、これまでの指定に関わらず、全市町村老連を対象に募集することとし、取り組みにつきましても、市町村全体に限らず地区や単位クラブとして取り組むことも可能です。

詳しくは宮城県老人クラブ連合会までお問い合わせください。

会員一万人増強運動の実績

平成29年度

会員1万人増強運動は全老連が平成26年度から運動を開始した「100万人会員増強運動」を受け、宮城県での会員増加目標を1万人と設定し、平成27年度から事業を展開しております。

平成29年度の実績として、

○**会員数が増加した既設クラブ**

クラブ数 7クラブ

増加者数 53人

○**新設されたクラブ**

クラブ数 2クラブ

会員数 60人

○**新設クラブへの**

貢献老連

2老連

となり、増加した会員数は113人となっておりますが、平成28年度末の県全体のクラブ数・会員数と平成29年度末を比

較しますと、下記の表のとおり、クラブ数は45クラブ、会員数は2,476人の減となっており、会員減少に歯止めが利かない状況です。

会員一万人増強運動は今年度で終了となりますが、会員増強や維持に向けた取り組みはこれからも続けなければなりません。

皆様の老人クラブや老連での会員増強につながった取り組みや、新たな会員増強運動に繋がる活動などがございましたら、是非県老連までお知らせください。

※増加した会員数やクラブ数は、奨励金の申請があった件数を集計したもので、実際の増減ではありません。

平成29年度のクラブ数・会員数の推移（現況調査による）

現況調査による 老人クラブ(クラブ数 会員数)

H29. 4. 1現在			
	市町村名	クラブ数	会員数
1	石巻市	91	3,104
2	塩竈市	31	961
3	気仙沼市	27	896
	本吉	17	616
4	白石市	26	1,412
5	名取市	33	1,183
6	角田市	49	1,452
7	多賀城市	24	923
8	岩沼市	26	878
9	登米市	145	6,124
10	栗原市	140	4,343
11	東松島市	33	1,061
12	大崎市	90	3,382
13	富谷市	13	800
14	蔵王町	14	641
15	七ヶ宿町	6	148
16	大河原町	17	583
17	村田町	15	379
18	柴田町	21	660
19	川崎町	17	489
20	丸森町	14	336
21	亘理町	34	1,368
22	山元町	4	168
23	松島町	12	733
24	七ヶ浜町	12	574
25	利府町	20	959
26	大和町	49	2,241
27	大郷町	23	510
28	大衡村	13	443
29	色麻町	15	325
30	加美町	45	2,108
31	涌谷町	37	1,228
32	美里町	15	825
33	女川町	8	309
34	南三陸町	18	671
県総計		1,154	42,833

H30. 4. 1現在			
	市町村名	クラブ数	会員数
1	石巻市	84	2,785
2	塩竈市	31	953
3	気仙沼市	27	919
	本吉	14	459
4	白石市	25	1,349
5	名取市	32	1,070
6	角田市	46	1,326
7	多賀城市	22	841
8	岩沼市	23	752
9	登米市	142	5,869
10	栗原市	132	4,031
11	東松島市	31	1,009
12	大崎市	79	2,970
13	富谷市	13	751
14	蔵王町	14	625
15	七ヶ宿町	6	137
16	大河原町	18	570
17	村田町	15	373
18	柴田町	21	648
19	川崎町	17	482
20	丸森町	14	316
21	亘理町	32	1,280
22	山元町	4	168
23	松島町	12	719
24	七ヶ浜町	12	570
25	利府町	20	916
26	大和町	49	2,152
27	大郷町	22	478
28	大衡村	13	419
29	色麻町	14	320
30	加美町	44	2,026
31	涌谷町	37	1,209
32	美里町	15	792
33	女川町	11	420
34	南三陸町	18	653
県総計		1,109	40,357

H30－H29	
クラブ数	会員数
-7	-319
0	-8
0	23
-3	-157
-1	-63
-1	-113
-3	-126
-2	-82
-3	-126
-3	-255
-8	-312
-2	-52
-11	-412
0	-49
0	-16
0	-11
1	-13
0	-6
0	-12
0	-7
0	-20
-2	-88
0	0
0	-14
0	-4
0	-43
0	-89
-1	-32
0	-24
-1	-5
-1	-82
0	-19
0	-33
3	111
0	-18
-45	-2,476

老人クラブ 3つの保険〈掛金・補償内容〉

傷 害 保 険

自分がケガをした時の保険です。病気および他人に与えたケガは対象外です。

- ① 対 象：老人クラブ会員に限りです。年齢制限はなく、いつでも加入できます。(1人1口加入)
ただし、加入手続きは所属老人クラブの保険担当者に取りまとめる団体傷害保険です。
- ② 保険期間：掛金払込日の翌月1日から1年間
- ③ 補償範囲・掛金タイプ
「24時間型(掛金3タイプ)」と「活動型(掛金3タイプ)」の6タイプから選択してください。

1

24時間型

〈クラブ活動中(往復途上^(注3)を含む)・クラブ活動中以外を問わず
日常生活全般(24時間)のケガを補償します。〉

☞ クラブ活動中のケガの場合は、(白・地) + (薄いグレー) の合計 (黒・色) の保険金額が支払われます。

☞ クラブ活動中以外のケガの場合は、(薄いグレー) のみの保険金額が支払われます。

年間掛金		10,000円		5,000円		3,500円	
補償内容	ケガをした時の状況	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合
死 亡 保険金		170万円	217万円	85万円	109万円	45万円	91万円
		387万円		194万円		136万円	
後遺障害 保険金	(注1)	170万円	—	85万円	—	45万円	—
		170万円		85万円		45万円	
入院保険金 日額	(注2)	4,000円	2,280円	2,000円	1,140円	1,000円	950円
	(1事故につき 30日限度)	6,280円		3,140円		1,950円	
通院保険金 日額		2,600円	1,700円	1,300円	850円	650円	600円
	(1事故につき 30日限度)	4,300円		2,150円		1,250円	

※「24時間型」の職種級別Aは無職・事務職(傷害リスクの低い職業)等です。B(傷害リスクの高い職業)については、下記をご参照ください。

ご注意

● 職種級別Bに該当するおもな職種

- ・「自動車運転者」、「建設作業員」、「農林業作業員」、「漁業作業員」、「採鉱・採石作業員」、「木・竹・草・つる製品製造作業員」(以上、6職種)
- ・上記に該当する方は、保険金額が変更になります。
- ・詳しくは取扱代理店もしくは引受保険会社にお問い合わせください。

2

活 動 型

〈クラブ活動中(往復途上^(注3)を含む)
のケガを補償します。〉

☞ クラブ活動中のケガの場合は、下表の保険金額が支払われます。
クラブ活動中以外のケガの場合は補償されません。

年間掛金	2,000円	1,000円	500円
ケガをした 時の状況	活動中の ケガの場合	活動中以外 のケガの場合	活動中の ケガの場合
死 亡 保険金	170万円	85万円	45万円
(注1) 後遺障害 保険金	170万円	85万円	45万円
(注2) 入院保険金 日額 (1事故につき 30日限度)	4,000円	2,000円	1,000円
通院保険金 日額 (1事故につき 30日限度)	2,600円	1,300円	650円

ご注意

- ・クラブ活動とは、各クラブで予め企画、実行したものを指します。
- ・「活動型」に職種級別はありません。

※注1 後遺障害保険金は、クラブ活動中のケガに起因する場合のみが対象となります。(後遺障害の程度に応じて、クラブ活動中の死亡・後遺障害保険金額の4%～100%が支払われます。)

※注2 手術保険金のお支払額は、入院中以外(外来)は、入院保険金日額の5倍または入院中は、10倍となります。

※注3 往復途上とは、自宅(マンション、アパートなどの集合住宅は専用部、戸建ては敷地を含む)を出てから、活動場所までの通常経路を指します。

3

賠 償 責 任 保 険

他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険。自分のケガは対象になりません。

- ① 対 象：老人クラブ(全員加入が条件となります) ② 保険期間：毎年10月から1年間
- ③ 掛 金：1人年額100円(最低引受保険料3,000円) ④ 補 償：支払限度額1億円



公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係

TEL.03-3597-8770 FAX.03-3597-8767

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3丁目6-14 三久ビル1階102号

〈取扱代理店〉 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8768

〈引受幹事保険会社〉 東京海上日動火災保険株式会社

※この広告は、以下の商品についてご紹介したものです。
「老人クラブ傷害保険」

■活動型：老人クラブ団体傷害保険特約付帯傷害保険、

■24時間型：総合生活保険(傷害補償)

「老人クラブ活動専用賠償責任保険(施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険)」

ご加入にあたっては、必ず「老人クラブ3つの保険のご案内パンフレット」「概要」「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点がある場合には、代理店までお問い合わせください。

18-T02023 平成30年6月作成 6



書籍

出版の ススメ。

電子書籍

DVD

「詩歌集」「絵画集」「写真集」

これまでに創作した詩歌、随想、絵画、写真を1冊の本にしてみませんか。

「自分史」

これまで歩んできたあなたの半生を、1冊の本にして家族や友へ伝えてみませんか。

■お問い合わせ

〒980-0801

宮城県仙台市青葉区木町通二丁目6番 53 号 あきはビル 3F・6F

Tel 022(727)5181 代表

Tel 022(205)2551 制作企画部 直通

Fax 022(718)5350

E-mail senko.kato@kym.biglobe.ne.jp

ひらめきと、ときめきと。

あきは書館